

建設工事の無事故完了を祈って

～(仮称)目名地区多目的集会施設建設工事安全祈願祭～

6月26日(火)、目名地区において、『(仮称)目名地区多目的集会施設』建築工事安全祈願祭が行われました。

安全祈願祭は、村、目名部落会等地元関係者、建設工事関係者ら約50名が出席し、神前にて鍬入の儀や玉串を捧げるなどをし、工事が無事完了することを祈りました。

神事に引き続き、越善靖夫村長より、「これまでの集会施設は駐車場も整備されておらず、また、老朽化が激しいものでしたが、新しい集会施設が完成することにより、地域振興に取り組まれ、様々な交流が図られることを期待します」と挨拶があり、工事関係者の安全の祈念と集会施設の果たす役割への期待が述べられました。

(仮称)目名地区多目的集会施設は、木造平屋建て。平成25年1月完成予定です。



くわ入れする越善村長



完成予想図

社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

7月2日(月)、第62回「社会を明るくする運動」並びに第33回「下北一周愛のキャラバン」が行われ、法務大臣及び青森県知事からのメッセージが林副村長に伝達されました。

この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪をした人や非行のある少年の更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする更生保護活動の一環とした全国的な運動です。

当日は、むつ下北地区保護司会の中村満雄会長他40名余りの関係者が村庁舎を訪れ、終了後は、村内を広報活動して皆さんに協力を呼びかけました。



メッセージ伝達式の様子